2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　テックファームホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　3625　　ＵＲＬ　https://www.techfirm-hd.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長ＣＥＯ　　（氏名）永守　秀章
問合せ先責任者　（役職名）経営管理部長　　（氏名）松本　圭太　　ＴＥＬ　03-5365-7885

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	1,760	6.2	167	32.1	173	30.9	129	67.5
2026年６月期第１四半期	1,658	9.6	126	△13.5	132	△19.7	77	△25.6

（注）包括利益　2027年６月期第１四半期　123百万円（60.6%）　2026年６月期第１四半期　77百万円（△8.8%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	18.13	－
2026年６月期第１四半期	10.87	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	4,952	3,217	65.0
2026年６月期	5,042	3,148	62.4

（参考）自己資本　2027年６月期第１四半期　3,217百万円　2026年６月期　3,148百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	－	0.00	－	8.00	8.00
2027年６月期	－				
2027年６月期（予想）		0.00	－	8.00	8.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	6.2	750	3.9	730	△3.2	500	1.7	70.26

（注）１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
２．当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第２四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料６ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	7,515,000株	2026年６月期	7,515,000株
② 期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	398,913株	2026年６月期	398,913株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	7,116,087株	2026年６月期１Ｑ	7,086,087株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 6
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 6
（セグメント情報等の注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価高に伴う節約志向や実質可処分所得の伸び悩み等による個人消費の一部停滞が見られたものの、人手不足に対応した省力化投資やAI関連需要に牽引され、企業の設備投資意欲は引き続き旺盛に推移するなど、景気は総じて緩やかな回復基調を維持しました。一方で、中東情勢をはじめとする地政学的リスクの継続により、原油・エネルギー価格が高止まりし、為替市場や金融市場で警戒感が強まるなど、先行きについては引き続き不確実性の高い状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、AI駆動開発の普及による開発プロセスの変革が進むなか、単なる機能実装にとどまらず、AIを活用した新たな事業創出や顧客体験の高度化など、事業成長に直結する戦略的IT投資へのシフトを一層加速させております。

当社グループは「最先端テクノロジーと創造力で、産業の変革をリードします。」をミッションとして掲げ、先端技術を基盤とした高付加価値ソリューションや業界特化型プラットフォームのサービス提案、設計から開発、運用保守まで、ワンストップの支援体制を整え、顧客企業におけるDX推進の共創パートナーとして事業成長に取り組んでおります。また、創業以来、独立系のソフトウエア会社として様々な業種で蓄積したICTの知見とノウハウを活用し、デジタル化による成長が見込まれる産業に向けて新たな価値を創出することでITを通した社会貢献に努め、グループの事業基盤、収益力の強化を目指しております。

当第１四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,760,444千円（前年同四半期比6.2％増）、営業利益は167,415千円（前年同四半期比32.1％増）、経常利益は173,778千円（前年同四半期比30.9％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は129,034千円（前年同四半期比67.5％増）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

（ICTソリューション事業）

ICTソリューション事業においては、これまで戦略的に推進してきた大型案件へのシフトが結実し、開発が安定して進捗したこと等により、売上高は第１四半期連結累計期間として４期ぶりに過去最高を更新しました。持続的な成長に向けたAI活用や技術検証、人財への教育投資を継続したことから、利益水準は計画対比で若干の抑制傾向となったものの、大型案件の収益貢献等により前年同期を上回る水準で推移しております。

こうした技術検証やノウハウの蓄積を背景に、先端テクノロジーを活用した新たな価値提供を加速させております。具体的には、多くの企業においてベテラン社員の退職や仕様の属人化により「既存システムの全体像が分からず改修が進まない」という課題が顕在化するなか、設計書や開発ノウハウをAIで解析・資産化して共有する新サービス「SPEC AGENT™」の提供を開始いたしました。本サービスは「AIシステムサービスプラットフォーム構想」の第一弾として、企業の円滑なシステム刷新と開発プロセスの高度化を支援するものであります。今後は、同ツールの導入を契機として新規顧客の開拓を加速させるとともに、得られた接点を起点としたシステム開発案件の獲得及び将来的な受注拡大へと繋げてまいります。

上記により、当第１四半期連結累計期間のICTソリューション事業の売上高は1,694,087千円（前年同四半期比8.7％増）、セグメント利益は306,276千円（前年同四半期比20.7％増）となりました。

（クロスボーダー流通プラットフォーム事業）

クロスボーダー流通プラットフォーム事業においては、最新のITと流通技術を組み合わせ、アジアと日本をつなぐ越境流通プラットフォームを展開し、利用顧客数の増加と流通量拡大による安定した収益の確保と成長を目指しております。高付加価値の日本商品に対する需要が高いシンガポール市場を拠点に、輸出に向けた市場調査から販路開拓、マーケティングを支援し、顧客企業のビジネス「創出」から「定着」まで一貫したサポートに取り組んでおります。

当第１四半期連結累計期間は、案件規模と採算性を重視した顧客ポートフォリオの再構築に伴い、一時的な売上縮小の過渡期となっておりますが、業務プロセスのシステム自動化やAI活用を推進し、オペレーションの効率化と運営基盤の構築を進めております。堅調に推移する海外EC事業は、顧客体験の質の向上により単価引き上げを図るとともに、新たな富裕層顧客の獲得を強化してまいります。シンガポールに続く展開先としては、マレーシア市場へ進出し、オンライン・オフライン双方を融合したマーケティングサービスを提供してまいります。今後も、再現性の高い支援モデルの水平展開を進め、持続的な成長に向けた土台作りに注力してまいります。

上記により、当第１四半期連結累計期間のクロスボーダー流通プラットフォーム事業の売上高は66,357千円（前年同四半期比33.5％減）、セグメント損失は17,175千円（前年同四半期はセグメント損失12,865千円）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ87,372千円減少し、4,462,227千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が62,461千円、商品が41,997千円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が182,599千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,721千円減少し、487,760千円となりました。この主な要因は、投資その他の資産が2,472千円減少したことによるものであります。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べ276千円減少し、2,954千円となりました。

以上の結果、当第１四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ89,371千円減少し、4,952,942千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ156,950千円減少し、1,211,512千円となりました。この主な要因は、買掛金が99,344千円、賞与引当金が52,930千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1,092千円減少し、524,314千円となりました。

以上の結果、当第１四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ158,043千円減少し、1,735,826千円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べ68,672千円増加し、3,217,115千円となりました。この主な要因は、配当金の支払があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が72,106千円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期の通期連結業績予想につきましては、現時点では2026年８月14日の「2026年６月期　決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,947,976	3,010,437
受取手形、売掛金及び契約資産	1,082,910	900,310
有価証券	406,007	406,574
商品	10,812	52,810
その他	198,635	189,274
貸倒引当金	△96,741	△97,180
流動資産合計	4,549,600	4,462,227
固定資産		
有形固定資産	73,725	74,796
無形固定資産	3,165	2,845
投資その他の資産		
その他	414,270	411,798
貸倒引当金	△1,680	△1,680
投資その他の資産合計	412,590	410,118
固定資産合計	489,481	487,760
繰延資産	3,231	2,954
資産合計	5,042,313	4,952,942
負債の部		
流動負債		
買掛金	241,519	142,175
短期借入金	600,000	600,000
未払法人税等	105,912	82,926
賞与引当金	115,414	62,484
製品保証引当金	700	700
その他	304,916	323,226
流動負債合計	1,368,463	1,211,512
固定負債		
社債	500,000	500,000
資産除去債務	20,010	20,010
その他	5,397	4,304
固定負債合計	525,407	524,314
負債合計	1,893,870	1,735,826
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	1,409,491	1,411,361
利益剰余金	1,166,247	1,238,353
自己株式	△403,981	△403,981
株主資本合計	3,171,757	3,245,733
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,727	9,482
為替換算調整勘定	△36,042	△38,100
その他の包括利益累計額合計	△23,314	△28,618
純資産合計	3,148,442	3,217,115
負債純資産合計	5,042,313	4,952,942

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,658,375	1,760,444
売上原価	1,182,071	1,231,093
売上総利益	476,304	529,350
販売費及び一般管理費	349,546	361,935
営業利益	126,757	167,415
営業外収益		
受取利息	2,464	3,914
受取配当金	2,132	3,386
為替差益	4,286	2,651
その他	1,202	1,980
営業外収益合計	10,086	11,933
営業外費用		
支払利息	1,871	4,133
支払手数料	1,779	881
社債発行費償却	276	276
その他	117	278
営業外費用合計	4,046	5,569
経常利益	132,797	173,778
特別利益		
投資有価証券売却益	1,172	34,375
特別利益合計	1,172	34,375
税金等調整前四半期純利益	133,969	208,153
法人税等	56,919	79,119
四半期純利益	77,049	129,034
親会社株主に帰属する四半期純利益	77,049	129,034

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	77,049	129,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,456	△3,244
為替換算調整勘定	△2,449	△2,058
その他の包括利益合計	7	△5,303
四半期包括利益	77,056	123,731
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,056	123,731
非支配株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2025年７月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ICTソリューション	クロスボーダー流通プラットフォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,558,647	99,728	1,658,375	－	1,658,375
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	1,558,647	99,728	1,658,375	－	1,658,375
セグメント利益又は損失（△）	253,765	△12,865	240,899	△114,142	126,757

（注）１　セグメント利益又は損失の調整額△114,142千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）に係る費用であります。

２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2026年７月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ICTソリューション	クロスボーダー流通プラットフォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,694,087	66,357	1,760,444	－	1,760,444
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	1,694,087	66,357	1,760,444	－	1,760,444
セグメント利益又は損失（△）	306,276	△17,175	289,101	△121,686	167,415

（注）１　セグメント利益又は損失の調整額△121,686千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）に係る費用であります。

２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る減価償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間（自　2025年７月１日　至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間（自　2026年７月１日　至　2026年９月30日）
減価償却費	3,547 千円	5,211 千円